

学校経営方針

○ 奥出雲町唯一の高等学校として、生徒・保護者のニーズおよび地域の期待に応え、地域から信頼される魅力ある学校づくりを推進する。

| 重点目標                            | 分掌・学年部の目標                                  | 目標達成のための具体策  | 評価指標(アンケート結果)<br>肯定的評価割合(%) (昨年度→今年度)  | 自己評価及び改善策   | 学校関係者(学校評議員)評価・意見   |
|---------------------------------|--|--|--|---|---|
| 人権教育の推進<br><br>思いやりの心の涵養        | ○人権意識の高揚<br>○自他を大切に<br>心の醸成<br>○安全安心な環境づくり | ○人権学習 LHR・講演会<br>○日々の生徒への声掛け<br>○学年集会<br>○情報モラル講演会<br>○校内教職員研修 | 「人権の保障、安全・安心な学校・学級」<br>生徒 (82→86) B<br>保護者 (87→90) A<br>教職員 (97→87) B  | ○人権に係る評価が生徒・保護者及び教職員間で乖離がある。教職員の人権意識の高揚が必要である。<br>・人権・同和教育全体計画の策定及び実施を継続する。<br>・生徒と関わる全ての日々を人権教育の場として捉える。<br>○情報モラルに関する指導、良好な人間関係構築に係る継続的指導を行う。<br>○担任や学年会との密接かつ迅速な連携を図り、いじめの早期発見と解消に努める。<br>・自己の言動が他者や周囲へ与える影響を想像する力を育き、適切なコミュニケーションができる生徒の育成を目指す。 | ○教員の授業態度は大事なことである。是非改善されたい。<br><br>○いじめ事案に対して、対応が遅れたことがあったようだが、当該本人が一番辛い思いをしている。縦のみならず横の連携も図り素早い対応をされたい。                  |
|                                 | ○イジメの防止・早期発見・解決                            | ○生活アンケート<br>○イジメ防止対策委員会  | 「生徒への人権的配慮」<br>教職員 (100→100) A   |   |   |
|                                 | ○教育相談の充実                                   | ○スクールカウンセラー[SC]<br>○担任・学年主任・養護教諭等によるカウンセリング                    | 「教育相談の充実」<br>生徒 (80→84) B<br>保護者 (76→79) C<br>教職員 (97→87) B  | ○悩みや困りごと対応について生徒・保護者と教員との認識のズレを擦り合わせる。<br>○課題についての情報共有を密に行う。<br>○教職員対象に、教育相談に関わる研修の機会を設ける。  | ○現在 10 人に一人は性同一性障がい悩んでいる現状があると公民館での研修(講演)で知ったが、横田高校でも、機会があれば、当該講演を聴いて欲しい。   |
|                                 | ○規律ある態度の育成                                 | ○生活時間調査<br>○服装頭髪検査<br>○日々の生徒への声掛け<br>○学年集会                     | 「ふるまい、身だしなみ」<br>生徒 (94→95) A<br>保護者 (93→97) A  | ○生徒の意識が高い。引き続き良い状態を保つべく必要な指導を行っていく。   | ○生徒が元気のある気持ちよい挨拶をしてくれる。温かい心を感じる。<br>○制服について、生徒・保護者・中学生・教職員の意見を聞くなど、「横田高校の制服を考える会」の取り組みは評価できる。更なる魅力溢れる「横高」づくりにつながることを期待する。 |
| 知性や感性の醸成<br><br>キャリア教育の推進       | ○基本的な生活習慣の確立<br>○学習習慣の確立                   | ○生活時間調査<br>○日々の生徒への声掛け<br>○担任面談                                | 「計画的日常生活習慣の育成」<br>教職員 (77→80) B<br>「基本的な生活習慣及び学習習慣確立」<br>生徒 (73→72) C<br>保護者 (66→68) D<br>『平日学習時間目標』R3. (4月) [9月]<br>60分以上 90%以上 (87%) [83%]<br>120分以上 50%以上 (50%) [40%] | ○家庭学習習慣定着のため、各教科の学習を継続的に進めることの意義を面談等を通じ説いていく。また、予習、復習及び宿題を行う意義を今一度各教科から説き、家庭学習と授業が有機的につながる指導につなげたい。   | ○就職、進学を問わず、学力は大切である。授業を充実させることはもとより、家庭学習が質量ともに充実するような取り組みを望む。   |
|                                 | ○学力向上<br>・基礎基本の徹底<br>・思考力・判断力・表現力の育成       | ○授業評価アンケート<br>○習熟度別指導<br>○少人数指導                                | 「授業への生徒の取り組み」<br>生徒 (94→90) A<br>「授業の充実度」<br>生徒 (86→82) B<br>保護者 (78→78) C<br>「教員の学力伸長力」<br>教職員 (90→83) B<br><br><生徒による授業評価 R3.7実施>                                      | ○進路目標に応じた授業展開を継続する。総合コースに対しては、実社会で活用できる知識と応用力をつけていきたい。進学コースに対しては、共通テスト及び国公立大学個別試験を念頭に指導を行う。新教育課程初年度の令和4年度入学生については、基礎学力の定着を求めつつ、教科横断型の学習活動を教員が工夫するとともに、生徒所有のタブレットを有効活用させたい。  |   |
|                                 | ○自主的な学習の機会の創出                              | ○自主学習スペース「おくまな」<br>○進路意識向上のためのオンライン特別授業「たたらボ」                  | 「生徒自身の取り組み」<br>(97→96) A<br>「教員の授業の進め方」<br>(96→93) A   | ○自主学習スペースの開放日を増やした結果、利用者が増加した。<br>○Online 特別授業で学習への意欲喚起を図ったが、更なる充実に努めたい。  | ○「奥出雲学」は横田高校が目指す「魅力ある学校」に繋がる学習である。体験的な活動、地域連携を重視した学習を今後とも継続して欲しい。   |
| 地域に貢献できる人材の育成<br><br>自己実現の支援    | ○「総合的な探究の時間」の充実<br>○地域活動の充実                | ○「奥出雲学」<br>・探究スキル学習<br>・地域課題解決研究<br>・ICTによる探究学習支援<br>○ボランティア活動 | 「地域の魅力・課題の理解」<br>生徒 (91→75) C<br>「自発的な学習と協働」<br>生徒 (92→83) B<br>「主体的・協働的姿勢の育成」<br>教職員 (84→73) C  | ○探究学習を系統的な学習内容に変えたことで、一定の成果は見られるが、地域連携において更なる充実が必要である。<br>○全校生徒が地域活動に関わる機会をつくり、地域から感謝の声を頂いた。更に活発にしたい。   | ○地域に密着のボランティア活動は素晴らしい活動で、高校生の姿がよく分かる。更なる活動の充実を目指して欲しい。  |
|                                 | ○就職指導の充実<br>・職業観の育成<br>○進学指導の充実            | ○就職・進学の面接指導<br>○放課後の進学補習<br>○土曜講座<br>○模擬試験の効果的利用<br>○共通テスト研究   | 「進路指導の充実」<br>生徒 (88→86) B<br>保護者 (84→85) B<br>教職員 (94→97) A<br>「進路について考えたか」<br>生徒 (92→92) A<br>(1年84→83, 2年93→94, 3年99→99)   | ○概ね目標を達成と考える。<br>○生徒の進路について、全教員周知のもと指導を行う体制をつくる。模試成績報告・分析を行い、共通テスト・新課程入試対策を各教科で検討する。また、課題研究が入試に活用できるよう指導する。   | ○卒業生が本町に更に定着したり、一度外へ出て本町に戻ってくるような進路指導を行ってほしい。   |
|                                 | ○環境整備の推進                                   | ○効率的な予算執行  | 「施設設備の充実」<br>教職員 (84→83) B   | ○コロナ予算を有効に使い、設備の充実を図りたい。  | ○全国大会等へ参加する生徒激励のための懸垂幕用のスタンドを設置されてはどうか。   |
| 地域から信頼され期待される学校づくりのための情報発信・情報交換 | ○情報発信の迅速化                                  | ○HP等の充実  | 保護者 (59→60) D  | ○HPにタイムリーな情報掲載ができた。<br>○HP、Facebook、及びLINEについて、更新のスピード及び内容の向上に努める。<br>○『稲田が丘』の町内回覧を開始した。  | ○『稲田が丘』の定期発行は大変かと思うが、地域と繋がる切っ掛けとなるので、頑張ってください。<br>○HPの充実も図られている。  |
|                                 | ○保護者や地域との連携の推進                             | ○PTA活動   | 「保護者との連携」<br>保護者 (73→77) C   | ○コロナ禍ではあったが、美化活動はじめとしたPTA活動ができた。参加者に事後アンケートを行い、更によりものとした。   |   |
|                                 | ○中学生へのアピール                                 | ○オープンハイスクール  |  | ○コロナ禍継続のため、今年も中学校別の見学のみ実施。状況をみながらより充実した内容が盛り込めるようにしたい。  | ○「小学校との交流会」は素晴らしい企画であるが、町内2つ中学校との交流会にも取り組まれるとよい。  |
|                                 | ○迅速で丁寧な接遇                                  | ○来校者及び電話対応   |  | ○事務室が手薄な場合は、大職員室及び進路指導室からの応援を得て、外部からの架電に対応する。   | ○どの会社でも「見えない相手」に対する配慮に努めている。見えないが故に大変だが、学校の顔である。頑張ってください。   |
|                                 | ○「入学してよかった」という思いの涵養                        | ○全ての教育活動   | 生徒 (87→86) B<br>保護者 (89→93) A<br>教職員 (84→77) C   | ○生徒の評価をAに上げるべく、全ての教育活動に邁進する。  | ○部活動については、中学生の関心も高い。魅力ある部活動にする方策を考えて欲しい。  |